

社会保障領域のインフルエンサーを目指す医療法人東西会グループ

連載 139 在宅医療奮闘記

私の思い出
平成7年より
在宅を開始した

(医)東西会 千舟町クリニック理事長
橋本 満義 (72歳・内科)



現在、某有料老人ホームに入所中のT・Yさん(92歳男性)は、胃がん術後、軽度認知症、全機能低下症(誤嚥傾向もあり)といった症状で、寝たきり傾向にあります。今回は38.7℃の発熱があったため、午後8時40分ころ当院に往診依頼がありました。

その施設では、コロナ感染症にて休んでいる職員がいるため、T・Yさんも濃厚接触者扱いになります。このような場合の往診では、当院スタッフ(医師・看護師・介護士など)は、感

染予防のためフェイスシールド、マスク、キャップ、防護服など、まるで戦場に出向く鎧兜に身を包んだ武者揃えのようないでたちとなります。そして、いつものように患者さんの発熱精査「コロナ感染症」確認診断を行います。

T・Yさんはコロナウイルスが陰性であったため、通常の発熱患者扱いとなり、一般検査治療(血液・レントゲン検査、抗生剤、解熱剤処方など)の施行となります。

今回は、幸いにも通常の「風邪の症状」だった

ので、私たちも^{あんど}安堵したのです。

当院では現在、在宅患者総数約1,300名のうち、20%強の患者さまがコロナ感染症扱い(コロナ感染症あるいは濃厚接触者)となっています。

毎朝、当院の「コロナ対策行動計画」チームから在宅医療情報が入ってきます。

患者さまと同様に、スタッフも日々大変な苦労があり、頭が下がる思いです。いくら感謝しても足りないほどです。

～安全・安心・健康塾～

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。(5分間ルール)
現場の人たちを救命救急士として教育する
「安全・安心・健康塾」出張講義に、期待が集まります。



医療法人 東西会グループ

外来診療

(かかりつけ医) **内科** **要予約**

内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科

(医師/薬村 歩)

お医者さんが来てくれる!

24時間・365日体制で対応
(松山市全域)

私たちは、質の高い在宅医療・看護・介護を目指しています。



医師数 23名
(令和4年8月現在)

末期がん治療(緩和ケア)相談室開設!



(医)東西会イメージキャラクター「イチゴ・ツル・カメ」
三世代の「絆」を表すキャラクターです。
イチゴはこどもたち、ツルはお父さん・お母さん、カメはおじいちゃん・おばあちゃんを表しています。

国立愛媛大学附属病院臨床研究協力機関
大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関
関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所

(医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9
Tel:089-933-3788
<http://www.touzaikai.jp/>